

東京美術學校教授白濱徵編

改訂

中學校圖畫帖

卷四

大日本圖書株式會社

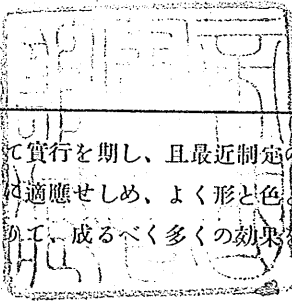
K2207  
60  
4

303  
749

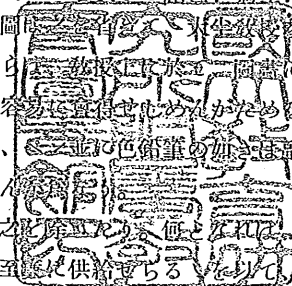


ば其教材の選擇辨  
能く他教科との  
の練習をなすを得  
此斟酌して按排  
本書は上述の  
畫のみを選びて  
れ各種の説明圖  
授くるに最も便  
用具は、主と  
の練磨と、彩色  
巻尾に挿入せ  
る印刷物は至る  
涵養に資するを  
本書の編纂を  
據りて圖畫教

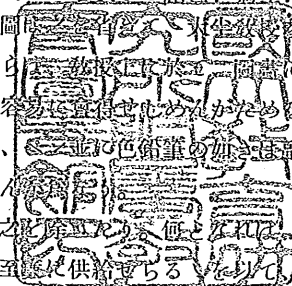
大正  
1.10.25  
丙寅



ば其教材の選擇排列も特に此に意を用ひて實行を期し、且最近制定の教授要目に準據し、又能く他教科との聯絡を保ちて、一層季節に適應せしめ、よく形と色とに對する觀察と描寫との練習をなすを得、以て少時の練習によつて、成るべく多くの効果を收得せしめんとし、彼此斟酌して按排せり。

本書は上述の趣意により、主として描寫上に必須なる繪畫、寫生、考案畫及び少數の參考畫のみを選びて紙數を増し、説明的の挿圖、 考書中に收めたり、是れ各種の説明圖は、教授者自ら適宜に作り、 關するあらゆる智識を授くるに最も便利にして、且生徒をして容易に習得せしめんとすなり。

用具は、主として鉛筆及び毛筆を用ひ、 とせり。是れその運筆の練磨と、彩色の活用とを自在ならしめんとすなり。

巻尾に挿入せし東西名家の作品は凡て之を採り、 今や是等作品の精巧なる印刷物は至る所に於て多く製せられ、至るに供給せらるるを以て、必要に應じて、趣味の涵養に資するを得るの便あればなり。

本書の編纂を新たにしたる趣旨以上所陳の如し。當局諸士冀くは編者の意を諒し、本書に據りて圖書教育の實績効果を擧げられなば、實に編者の欣幸とするの所なり。

大正  
1. 10. 25.  
丙戌

大正元年十月

白濱 徵

## 緒 言

時代の推移文物の發達は駭々乎として須臾も止まず。科學の進歩亦見るべきもの倍々多きを加ふるは現下の狀勢なり。是に於てか圖書教育も亦大に世人の注意を惹起し、之れが教育の任に當る者も研究を爲す益、眞率に、方法を講ずる愈、切實なり。是れ實に機を得人を得たるもの圖書教育の振興期して待つべく、其効果彌、顯著ならんとするは洵に慶賀する所なり。然れども、廣く宇内の形勢に鑑み、洵く他教科の進歩を願れば、圖書教育は未だ以て意を安うするの秋にあらず。蓋し能く教育上必須の學科たる輿論を喚起し、普く國民の趣味を向上せしめ、又國家經濟に資する上に於て、猶ほ缺如せるの感あるは、窃に遺憾とする所なり。

予曩に新式圖書帖と題する一書を公にして世の識者に詢ひ、圖書教育の革新を謀りしが、今又世界の趨勢に照し、本邦現時の情態に省み、圖書教育の本旨を達せんことを期し、新に改訂を加へて版を起せり。即ち本書は中等教育程度學校の教科用として最も適當ならしめ、學修に至便にして、然も利用貢獻の實あらしめんことを希圖し、經驗によりて、更に編纂せるものなり。蓋し曩には圖書に關する各種の方面を網羅し、以て其智識と技能との練磨に努めたりしも今やその實迹を考ふるに、却つて多様に涉りて煩瑣紛糾の虞あり、寧ろ簡により要を採るに如かざるを感じて更に前書に改訂を加へたるなり。何となれば方今に至りては初等教育に於て、已に其智愈、啓け、其識益、優れるに依り、中等教育にありては、更に進んで、深く描寫の技能を磨き、其の應用を巧みならしむるに資すべきの時なるを思ふてなり。され

卷

- 1 狀袋
- 2 インキ
- 3 團扇
- 4 樹葉
- 5 枝葉
- 6 陰影ノ
- 7 バケツ
- 8 桔梗
- 9 百合花
- 10 色圖
- 11 薔薇花
- 12 模範
- 13 模範

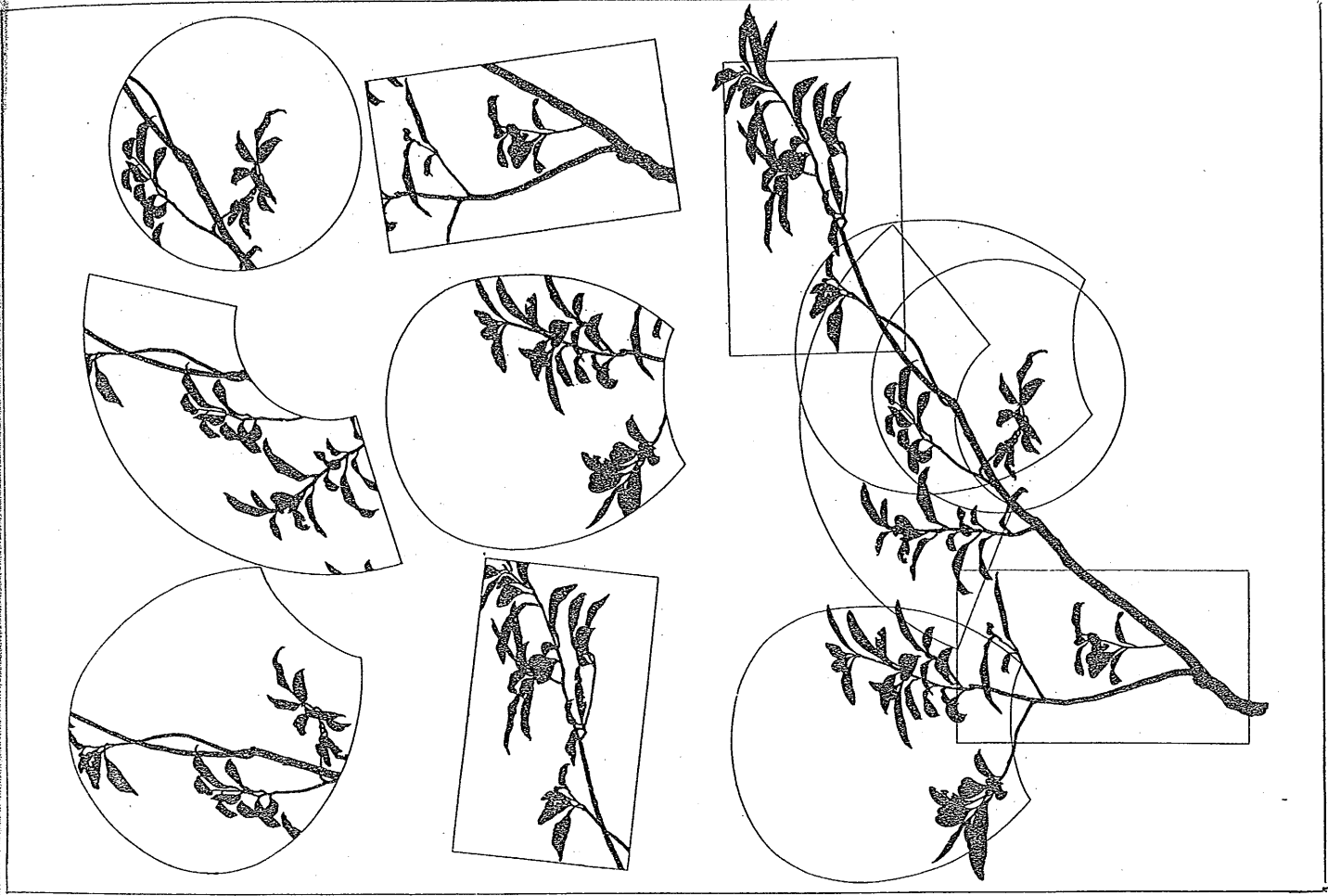
## 改訂中學校圖畫帖總目次

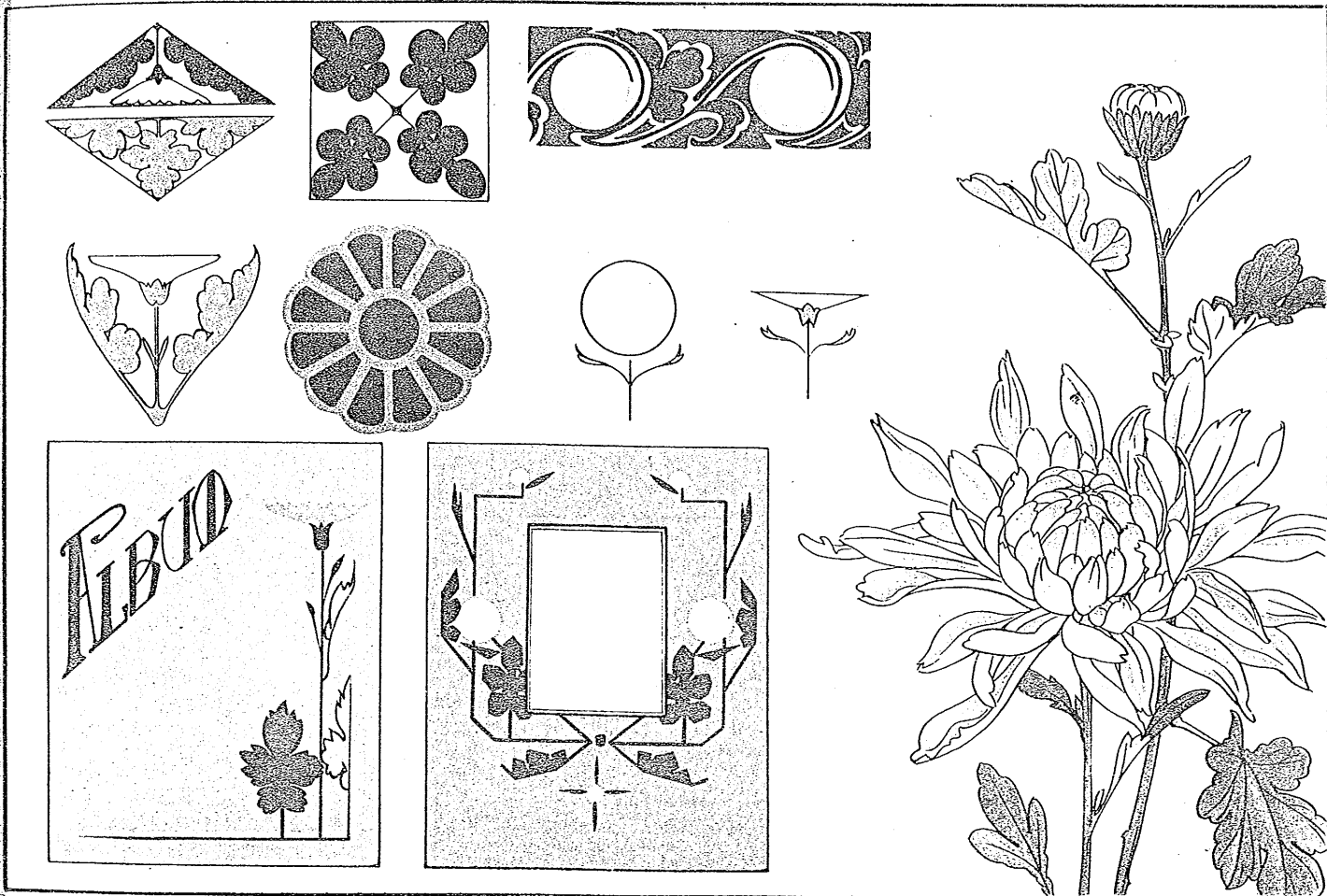
| 卷 一      | 卷 二         | 卷 三         |
|----------|-------------|-------------|
| 1 狀袋     | 1 手燭        | 1 書籍        |
| 2 インキ壺   | 2 野菜        | 2 菜ノ花       |
| 3 團扇     | 3 雞頭花       | 3 硝子瓶       |
| 4 樹葉     | 4 花瓶        | 4 撫子        |
| 5 枝葉     | 5 羅馬字及數字ノ畫方 | 5 文字應用圖案    |
| 6 陰影ノ參考圖 | 6 鐵瓶        | 6 燕子花       |
| 7 バケツ    | 7 西洋はさみ     | 7 雲雀        |
| 8 桔梗     | 8 國旗        | 8 蟹         |
| 9 百合花    | 9 茶器        | 6 蟲類        |
| 10 色圖    | 10 模様       | 10 模様       |
| 11 薔薇花   | 11 竹ト其模様    | 11 コスモスト其模様 |
| 12 模様    | 12 模様       | 12 樹木ノ略畫    |
| 13 模様    | 13 植物ノ略畫    |             |

るべきもの倍々多き  
 意起し、之れが教育  
 實に機を得人を得た  
 に慶賀する所なり。  
 は未だ以て意を安  
 國民の趣味を向上  
 憾とする所なり。  
 革新を謀りしが、  
 ことを期し、新に  
 も適當ならしめ、  
 りて、更に編纂せ  
 技能との練磨に努  
 り、寧ろ簡により  
 今に至りては初  
 は、更に進んで、  
 ふてなり。され

## 改訂中學校圖畫帖總目次

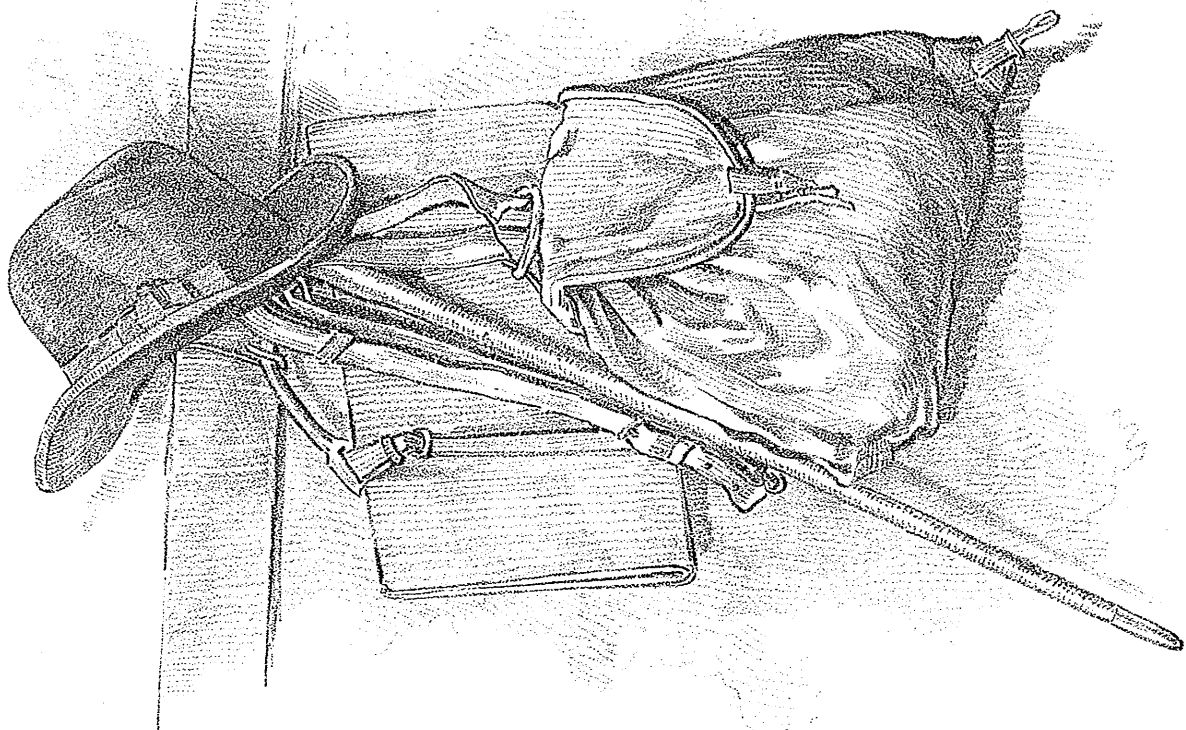
| 卷 四       | 卷 五       | 卷 六       |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 作畫參考圖   | 1 蒲公英ト其模様 | 1 犬 蓼     |
| 2 菊ト其模様   | 2 蒲公英應用圖案 | 2 景 色     |
| 3 帽子ニ鞆    | 3 器物圖案參考圖 | 3 魚       |
| 4 水 差     | 4 べにひたき   | 4 景 色     |
| 5 赤 貝     | 5 笹ト櫻實    | 5 耳目口鼻及手足 |
| 6 兎       | 6 蝶ト其模様   | 6 顔       |
| 7 牛 馬     | 7 犬       | 7 乃木將軍    |
| 8 鱈       | 8 鳥獸ノ略畫   | 8 景 色     |
| 9 魚鳥の略畫   | 9 作畫參考圖   | 9 樹 木     |
| 10 水仙ト其模様 | 10 景 色    | 10 景 色    |
| 11 模 樣    |           |           |
| 12 樹 木    |           |           |

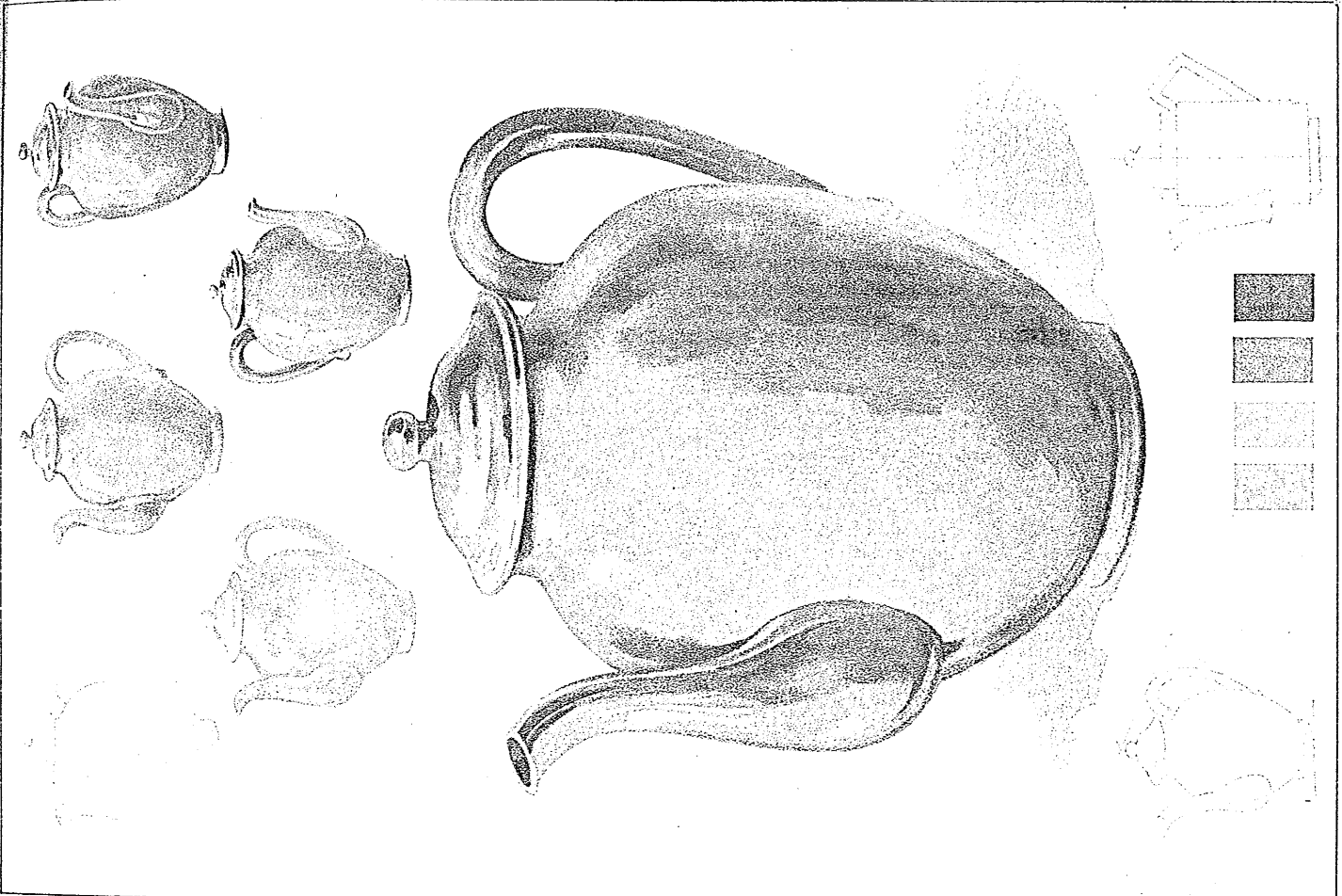


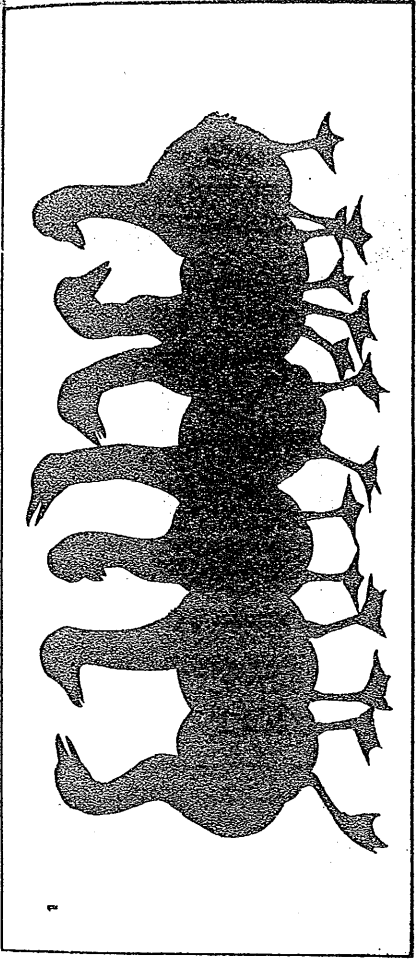
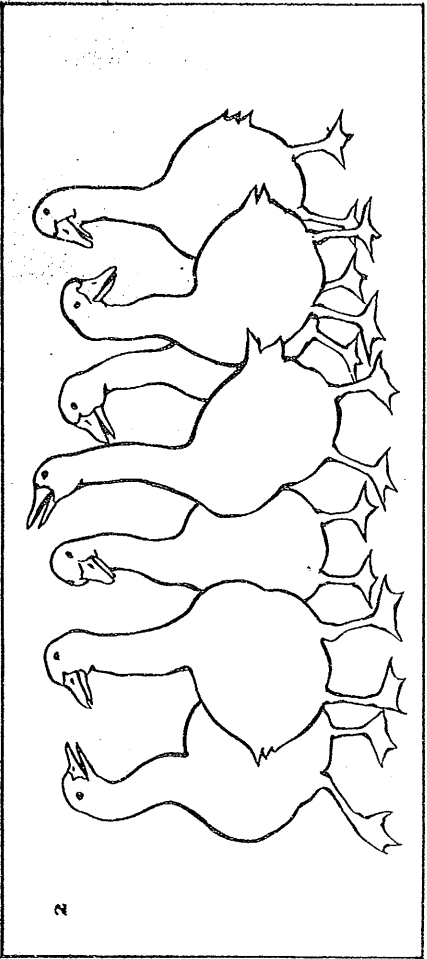
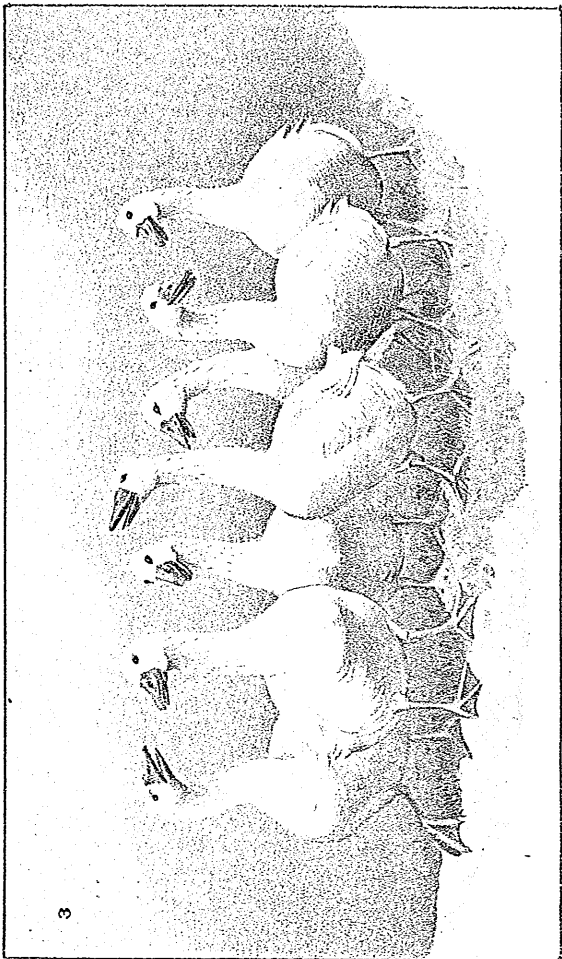


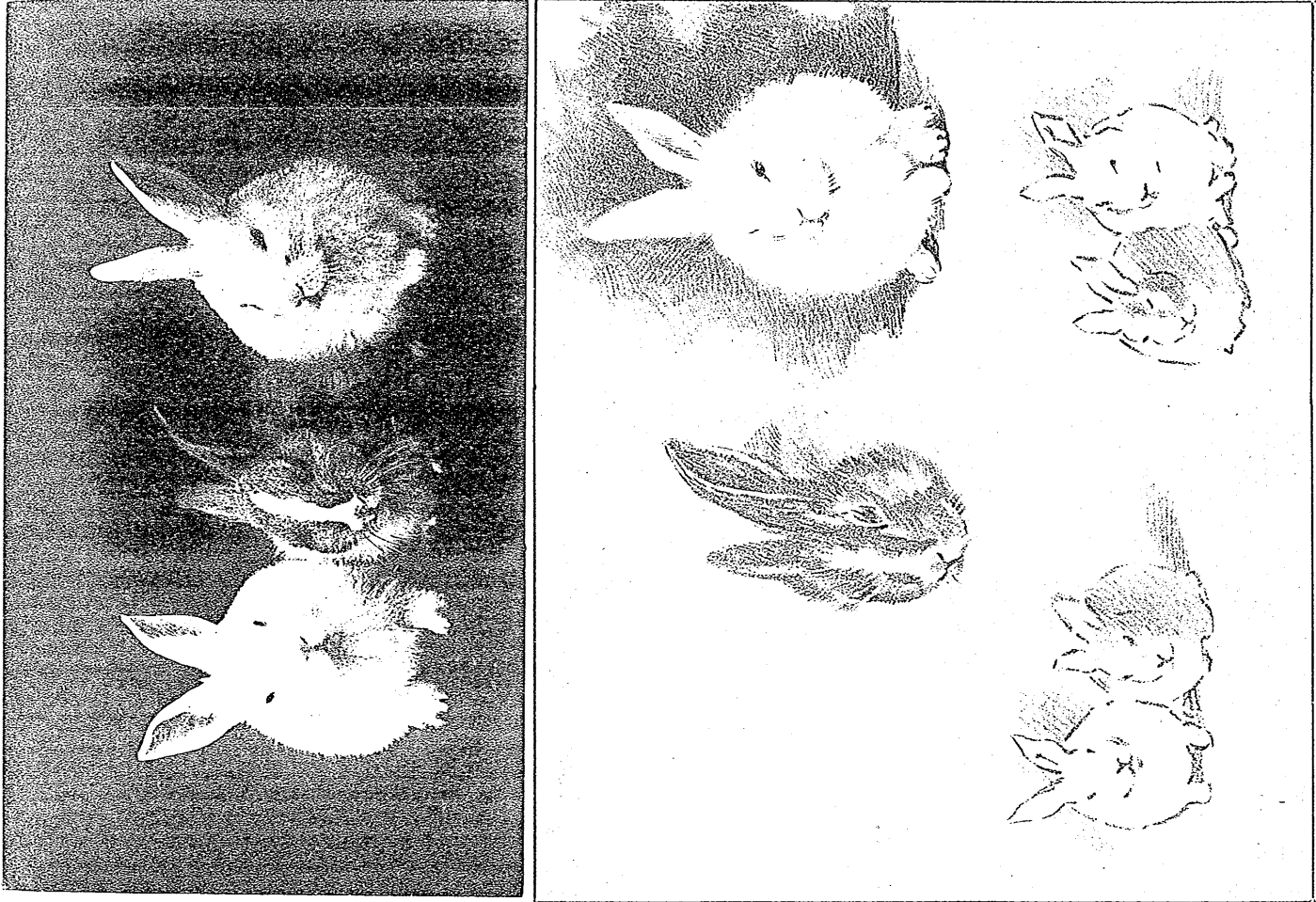
卷四 第二圖

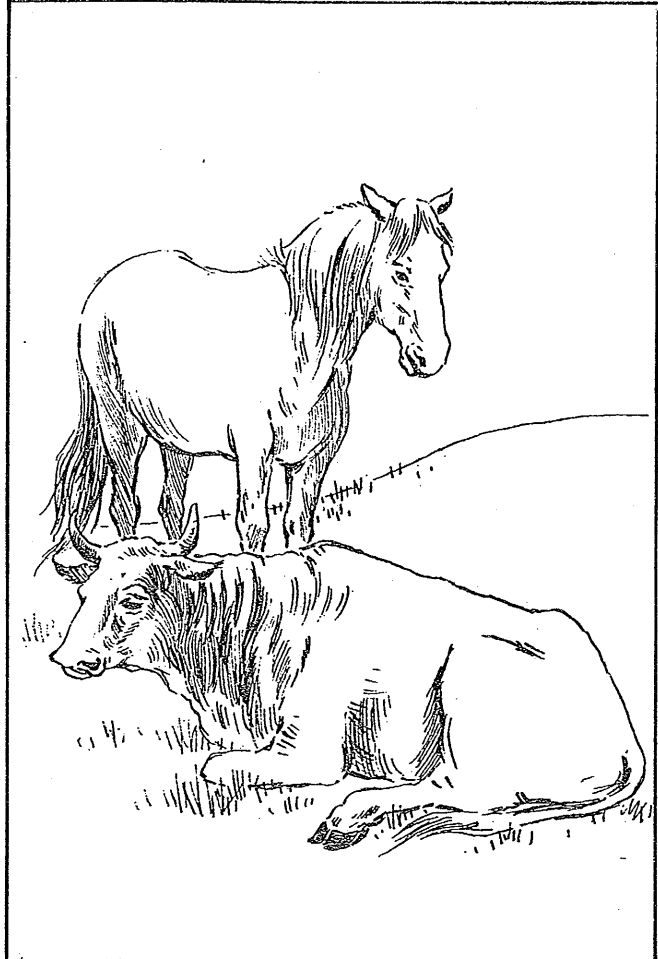
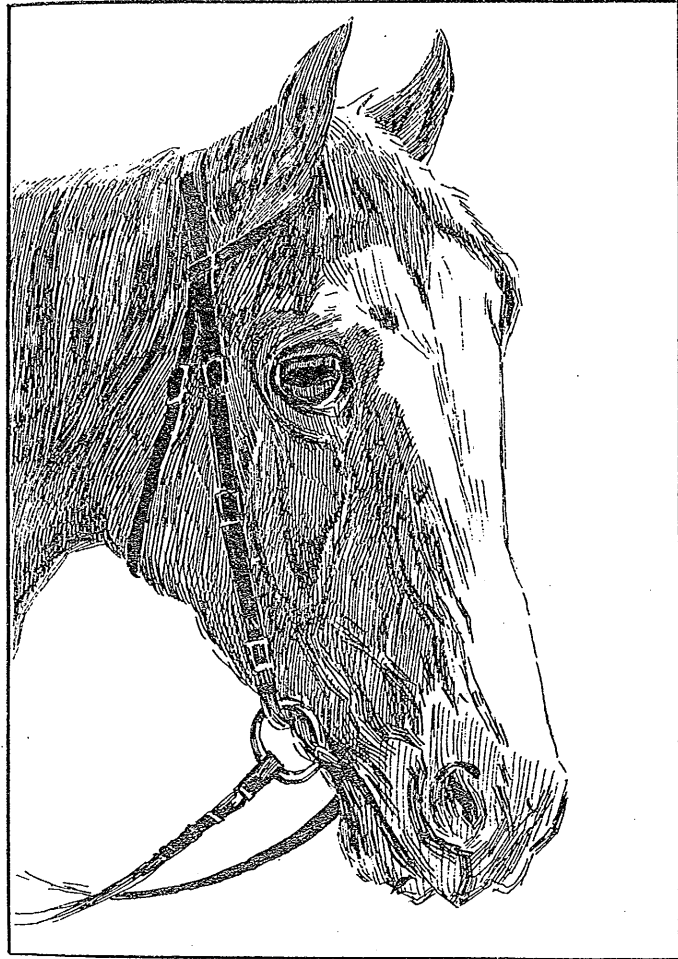




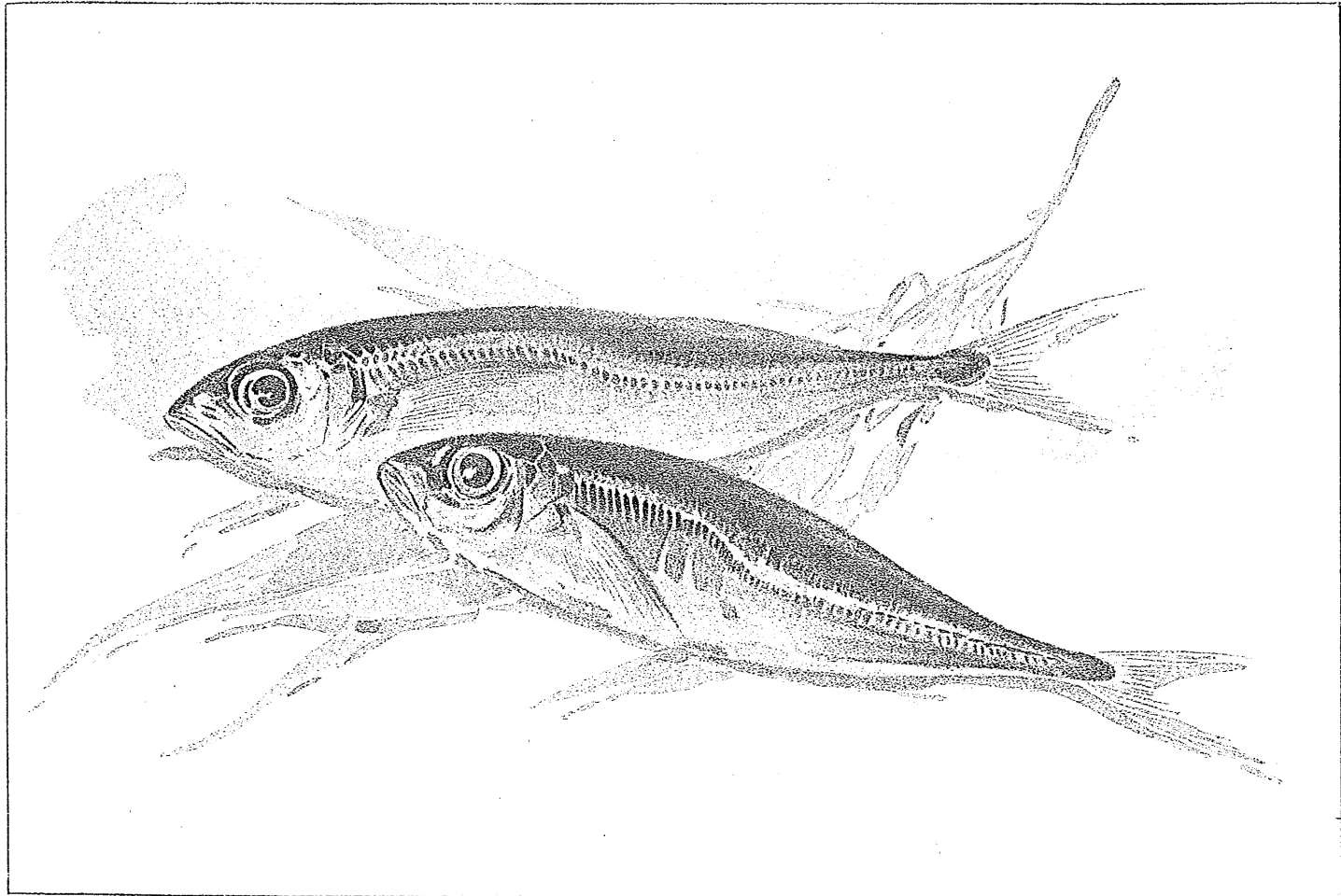




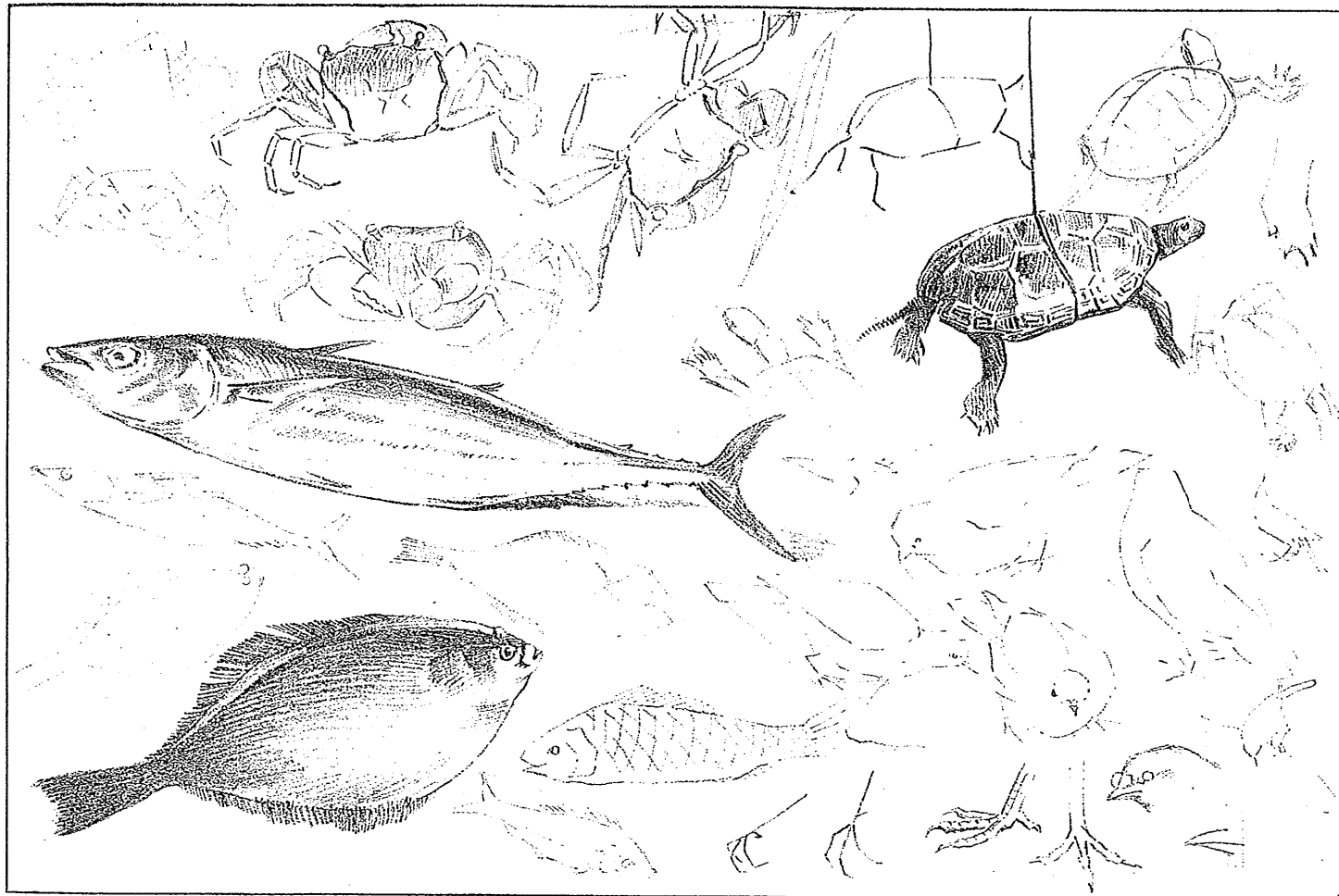




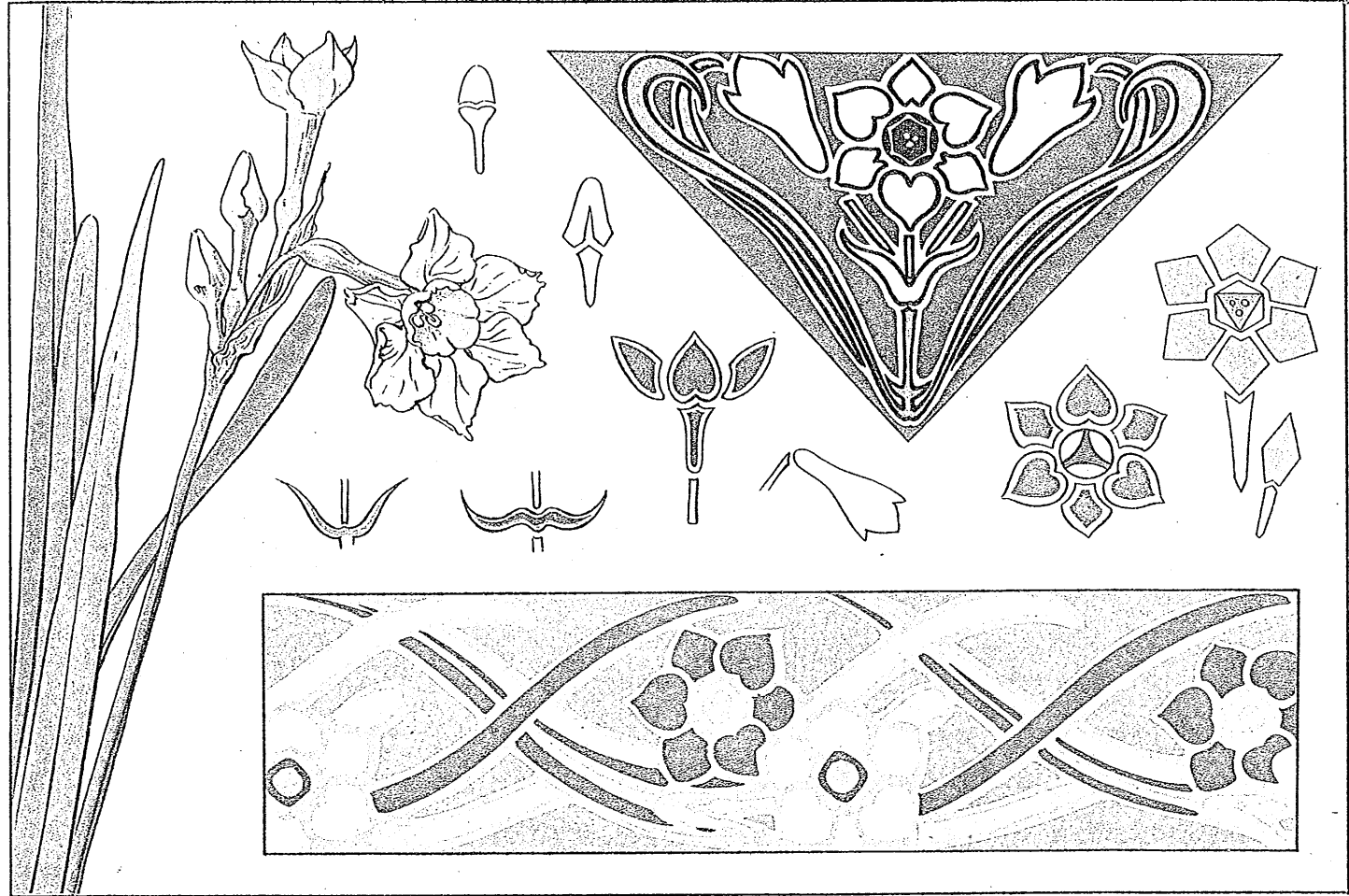
卷四 第七圖



卷四 第八圖

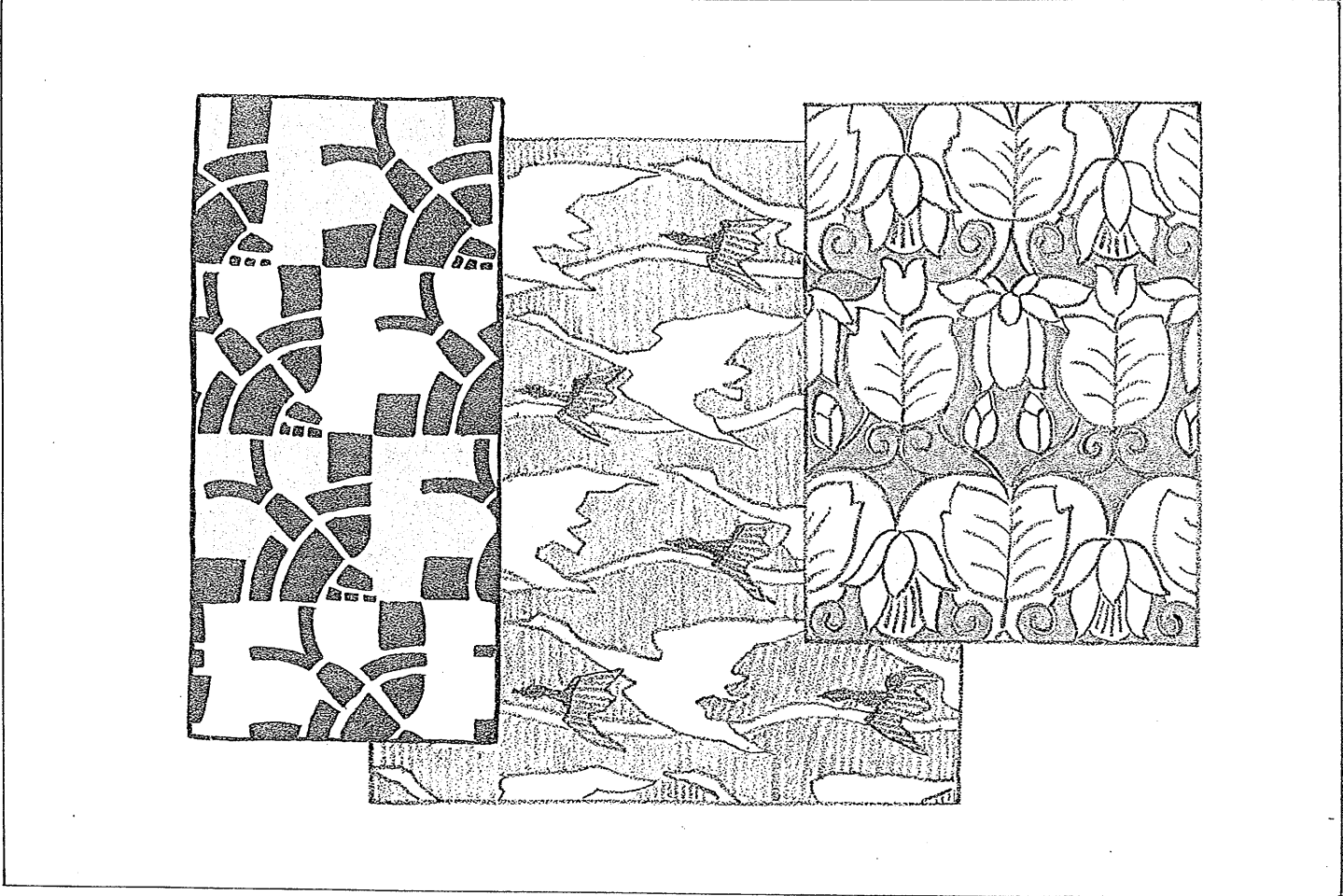


卷四 第九圖

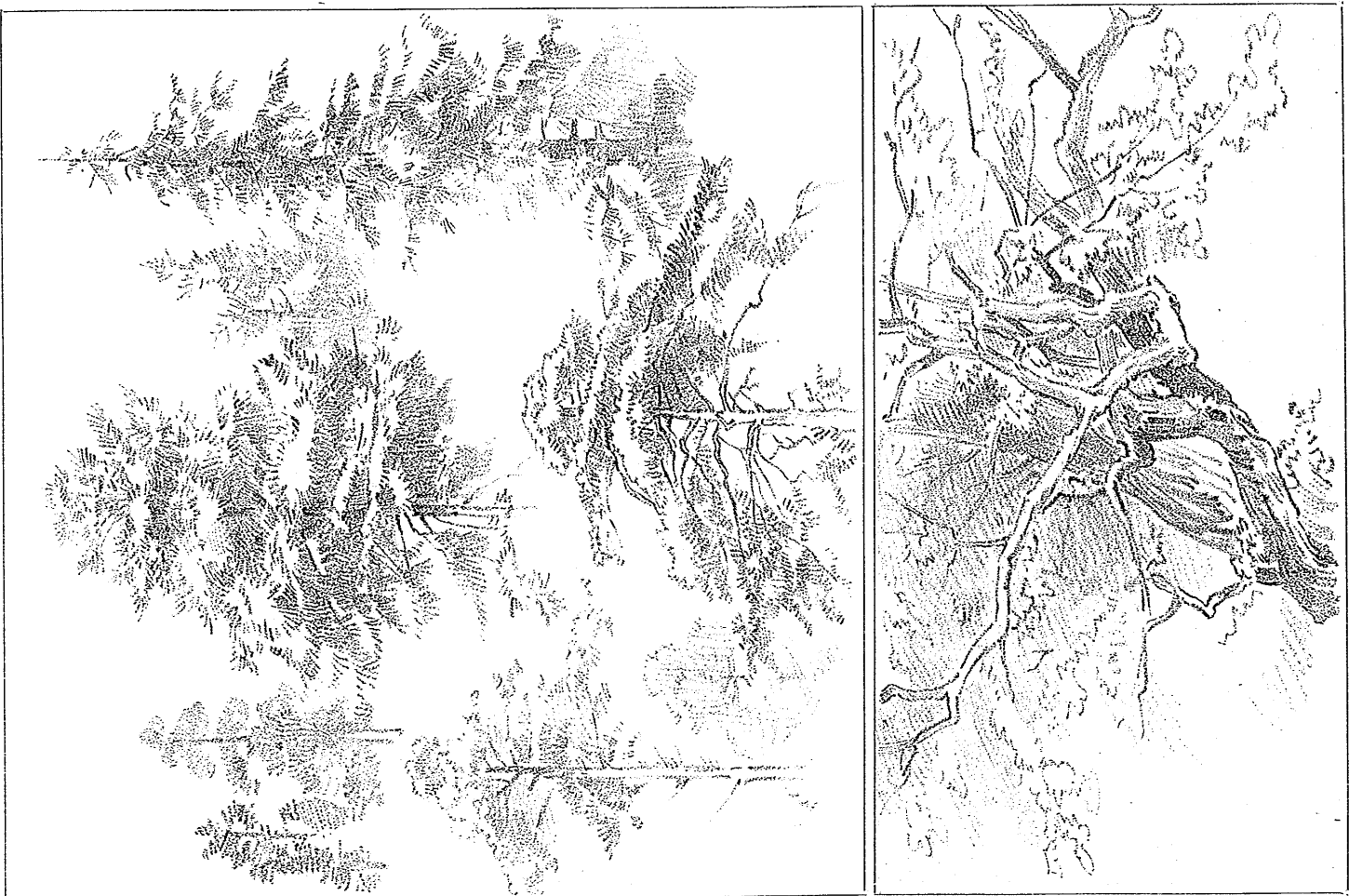


卷四 第十圖



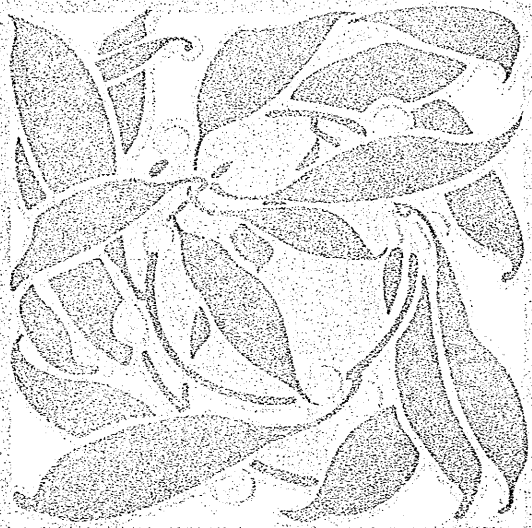


卷四 第十一圖



W2017





303  
749